箕面小だより

箕面市立
箕面小学校
令和7年（2025年）
7月号

学校教育目標	支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子
めざす子ども像	ともに考える子（知）、ともに高め合う子（情）、ともにやりぬく子（意）
めざす学校像	○あいさつと笑顔であふれる学校　○思いやりと優しさが感じられる学校 ○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校　○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

学びの原動力

校長

毎日、各教室を回り、子どもたちの様子を見守ることを日課としています。子どもたちと先生が醸し出す教室の空気やその表情から、その日の教室の「温度」を感じ取ることができます。この時間は、私にとって何よりも大切なひとときです。子どもたちの笑顔や真剣なまなざし、友だちとのやりとり、先生との関わりの中に、日々の成長の芽が確かに息づいているのを感じます。

ある日、一人の担任の先生に「校長先生は毎日教室を回る時間を決めているんですか？」と尋ねられました。「あまり意識はしていないけどどうして？」と返事をすると、「うちのクラスの一人の子が、校長先生が教室に来る時間を密かにメモしていて、それらを平均すると11時4分だというんです。」と教えてくれました。おもしろいことを考える子どもがいるものだと思うのと同時に、誰かに言われたわけでもなく、自分の興味から始めたその行動に感心しました。

子どもたちは、日常の中でふとした疑問や関心を抱き、それを自分なりに確かめようと行動に移します。「どうしてだろう？」「やってみたい！」という気持ちは、教科書の中だけではなく、日々の生活の中にこそ芽生えるものです。この疑問や関心こそが学びの原動力です。そしてその芽は、周囲の大人が気づき、受け止め、そっと背中を押すことで、ぐんぐんと伸びていきます。

学びの原動力は、子どもたち一人ひとりの中にあります。好奇心、探究心、達成感、仲間とのつながり、先生との出会い、そして日常の体験。どれもが、子どもたちの「もっと知りたい」「もっとやってみたい」という気持ちを育てる大切な要素です。

子どもたちの気づきやひらめきを大切にし、それを学びへとつなげていく環境づくりこそが、私たちの大切な役割です。私たち教職員は、子どもたちのこうした「学びたい」という気持ちに寄り添い、支えていく存在でありたいと日々研鑽を積みます。これからも、学校全体で子どもたちの学びの原動力を育てていくために、日々の教育活動を着実に積み重ねてまいります。

1学期も残すところわずかとなりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちはこの数か月で大きく成長しました。夏休みを前に、一人ひとりが自分の歩みを振り返り、次のステップへとつなげていけるよう、最後まで丁寧に見守ってまいります。

後日、彼が導き出した平均時刻に合わせてその教室を訪れてみたところ、私の姿を見た彼と担任の先生は、目を合わせ「にやっ」と笑っていました。その笑顔には、ちょっとした誇らしさと温かさがありました。ほんの一瞬の表情でしたが、私の心には深く残る出来事となりました。